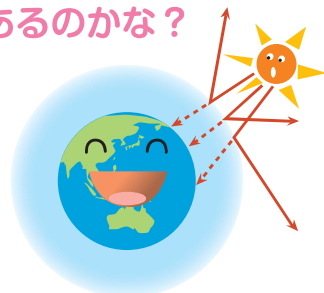


大気って何？

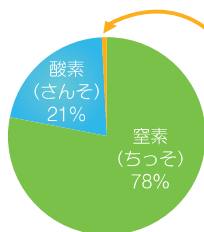
そもそも大気って何なんだろう。どんな役割があるのかな？

大気とは、惑星の表面を取りまいてる気体の層で、ふつうは地球の空気のことをいいます。太陽から出ているとても強い紫外線やエックス線などをさえぎるとともに保温の役割などをしています。



なお、空気はいろいろな気体がまざって出来ています。その割合はちっ素が78%、酸素が21%、アルゴンが0.93%、二酸化炭素が0.04%、その他の気体が0.03%です。

わたしたちはこの空気で呼吸（空気中の酸素を体の中に取り入れて、二酸化炭素を出すこと）を行って生きています。



その他 1%
 アルゴン 0.93%
 二酸化炭素 0.04%
 その他の気体 0.03%



大気は生きていくのになくってはならない大切なものなんだね。



近ごろでは、二酸化炭素が増えることによる地球温暖化問題も心配されています。

メモ

地球温暖化とは・・・

二酸化炭素など、太陽からの熱をたくわえ保温する効果があるガスは「温室効果ガス」と呼ばれています。この温室効果ガスが増えすぎて、地球の気温が上昇することを、地球温暖化といいます。気象の変化や、海面上昇、動物植物への影響などさまざまな問題の原因となっていると言われています。



さらにくわしく!

星空ウォッチング

大気中のほこりや水滴などは、星の光を屈折や散乱させたり、まちな照明などの光を反射して夜空を明るくするなど星を見えにくくするため、星の見え方と大気の状態には深い関係があります。たとえば、すばるや天の川の星がたくさん見えるときは、大気がきれいですよというサインです。地球の大気のことを考えながら、ぜひ星空をながめてみましょう。

